

温湯消毒種子の取り扱い

那須南農業協同組合・塩谷南那須農業振興事務所・(社)栃木県米麦改良協会

(平成23年2月作成)

JAなす南では、平成23年産用からのコシヒカリ、なすひかり、あさひの夢の種子を温湯消毒種子で供給することになりました。

浸種、催芽は温湯消毒種子のみで行い、他の消毒方法の種子や未消毒の種子と同一容器で同時に処理しないでください。作業前には必ず容器を洗浄しましょう。

芽の動きが早いので、積算温度100度を超えないようにしてください。

例) 水温10度×10日=100度
水温15度×7日=105度

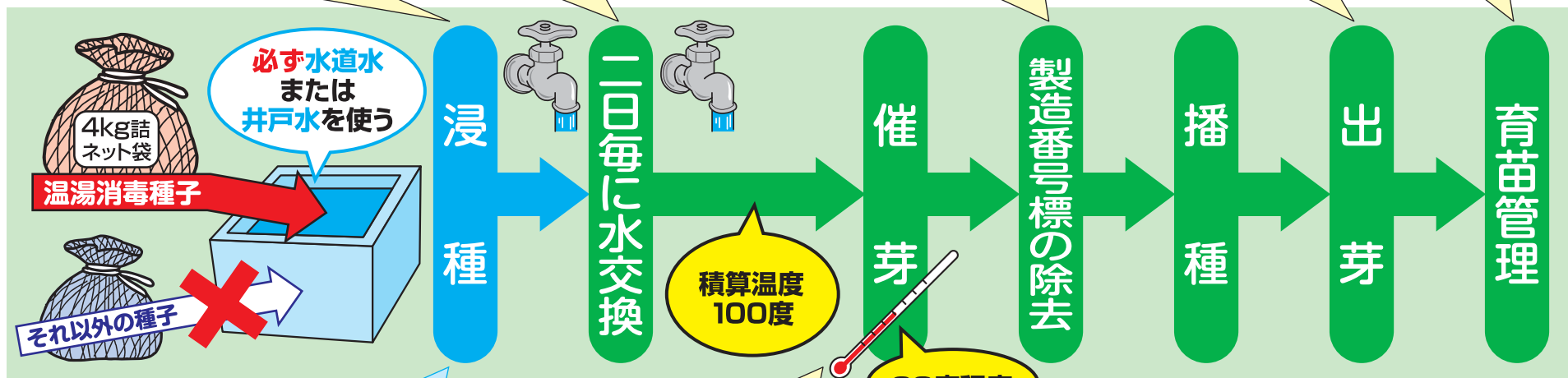
ネット内の製造番号票を必ず取り出し保管してください。

(播種機の故障が発生します)

温湯消毒済の種子
品種名 コシヒカリ
110201-0001-1376

従来の種子よりも早く発芽する傾向があるので、注意しましょう。

高温と多灌水は病気が出やすいので基本事項を守ってください。



浸種は桶、ポリ容器などで種子1kgに対し、約4リットルの水(容積比1:2)で行いましょう。

浸種水量早見表

種 籾	4kg	8kg	20kg	40kg
水量	16ℓ	32ℓ	80ℓ	160ℓ

芽を均一に揃えるため、必ず催芽してください。催芽温度は28度程度とします。温度が高いと褐条病等の細菌病が発生しやすくなるので低めにしましょう。



最適



伸ばしすぎ

催芽の目安

